

〈京都会場プログラム〉

趣旨説明 14:00-14:15

総論1 14:15-15:00

「都市ローマに潜む危険と恐怖：ローマに迫る一つの脅威について」

RISK AND FEAR IN THE CITY OF ROME: A THREAT TO THE ROMAN STATE

レイ・ローレンス PROF. RAY LAURENCE

マッコリー大学教授（古代史）

総論2 15:00-15:45

「古代ローマ時代の窓ガラス：その誕生および発展」

ANCIENT ROMAN WINDOW GLASS; ITS BIRTH AND DEVELOPMENT

藤井 慈子 DR. YASUKO FUJII

イタリア在住研究者

各論1 ポンペイ 15:45-16:30

「かつて住宅にはドアノッカーがあった！

初期元首政における社会変化による影響の可能性としてみる
紀元後1世紀後半における古代ローマ住宅における
建築平面およびセキュリティの変化」

'ONCE THERE WERE KNOCKERS TO BE STRUCK':

TRANSFORMATIONS IN THE ARCHITECTURAL LAYOUT AND SECURITY OF

ROMAN RESIDENTIAL BUILDINGS IN THE 2ND 1/2 OF THE FIRST CENTURY C.E.

AS A POSSIBLE REFLECTION OF SOCIAL CHANGES UNDER THE EARLY PRINCIPATE

エヴァン・プラウドフット DR. EVAN PROUDFOOT

博士

各論2 ポンペイ 16:30-17:15

「オスティアの街角にみる聖なるお守りたち」

SEEKING DIVINE PROTECTION IN THE STREETS OF OSTIA

ジャネット・ディレーン DR. JANET DELAINE

ディレクター、ウォルフソン・カレッジ・オックスフォード大学

質疑応答 17:15-17:45

総括 17:45-18:00

「ポンペイ・ヘルクラネウムからオスティアへ、
防災、防犯の観点からみた都市・建築の歴史」

FROM POMPEII AND HERCULANEUM TO OSTIA,
HISTORY OF SAFETY AND SECURITY

堀 賀貴 PROF. YOSHIKI HORI

九州大学教授

第3回連続国際シンポジウム 3RD INTERNATIONAL COLLOQUIA "RISK MANAGEMENT IN ANCIENT ROME"

「古代ローマの危機管理」

3月10日(日)

京都 14:00 - 18:00
於：京都大学法経第4教室(1階)
日英逐次通訳付

本国際シンポジウムは2015-18年セコム科学技術振興財団研究助成「古代ローマ帝国の防災・防犯マネジメント」、2018-20年基盤研究(A)(一般)「ポンペイとオスティア:古代ローマにみる建築術の総体としての都市と技術の大衆化」(研究代表者：堀賀貴九州大学教授)の成果の一部として開催されるものです。

主催：九州大学大学院人間環境学研究院 都市・建築学部 建築・都市史研究室
協賛：九州大学大学院人間環境学研究院
後援：一般社団法人 日本建築学会

連絡先：九州大学大学院人間環境学研究院 都市・建築学部 建築・都市史研究室
Tel: 092-802-5184 (直通) Fax: 092-802-5297 e-mail: hori@arch.kyushu-u.ac.jp

〒819-0395 福岡市西区元岡744九州大学イーストゾーン1号館A-329
HP: <http://history.arch.kyushu-u.ac.jp/HAU/labo/>